

野上浩子全集

第Ⅱ期

第二十七卷

書簡4

鄂上學



第Ⅱ期

第二十七卷

岩波書店

野上彌生子全集

第II期 第二十七卷

第二十九回配本

(全二十九卷)

一九九一年四月二十六日 発行

定価四五〇〇円

(本体四三六九円)

著 者 野 上 彌 生 子

発行者 安 江 良 介

〒101-02 東京都千代田区一ツ橋三・五五
発行所 株式会社 岩 波 書 店

電話 〇三三・五四二(案内)

印刷・精興社 製本・牧製本

落丁本・乱丁本はお取替いたします

目次

昭和四十六年	一
昭和四十七年	三
昭和四十八年	五
昭和四十九年	八
昭和五十年	二八
昭和五十一年	三三
昭和五十二年	一〇
昭和五十三年	二八
昭和五十四年	三〇
昭和五十五年	二八

昭和五十六年	三三
昭和五十七年	三七
昭和五十八年	四〇
昭和五十九年	四六
昭和六十年	四三
年次未詳	四〇
後記	四一
書簡総索引	五三

昭和四十六年（一九七二）

能智愛子

保谷市ひばりヶ丘団地68・103 能智愛子様
一月十五日（消印十六日） 世田谷区成城1・31・5 野上弥生子（葉書）

一五四

頂きものやら御手紙やら御礼を申上げるのが気の引けるおもひでございます。私は自分の古い作品などはよみ返す勇氣もないくらゐで、なにか仰しやられると赤面でございます。岩上さんからもいつもやさしい御便りに接します。春にでもなり、花でも咲きましたらまた御いつしよに入らせて下さいませ。とりあえず御礼まで。

御寒さくれぐれ御大切に念じあげます。

布川角左衛門

文京区小日向二ノ十一ノ十四 布川角左衛門様 御礼 速達
二月十二日 世田谷区成城1・31・5 野上弥生子

一五四

舌代

今朝は失礼いたしました。

御しらせ頂きました花代3000封入致します。なにもく御芳情にあまへ過ぎまして御礼の言葉を

知りません。たゞ／＼有りがたい事に存じあげます。

新年以来美しいおだやかな御天氣がつゞきましたが、今日は少く曇りまして二月らしいお寒さが加はりました。どうぞおそろひにてくれ／＼御大切に念じあげます。

二月十二日

やへ

布川御夫妻様

丸岡秀子

世田谷区船橋三・六・十六 丸岡秀子様
〔消印三月四日〕三月五日 区内成城1・31・5

野上弥生子 〔葉書〕

一五五

また／＼御心入れの栗かのこ有りがたく拝受いたしました。

なにかと御活躍の御様子、御元氣のしるしと御悦び申し上げます。私もこのところ雑事に追はれ、これも生きてゐるしるしかとあきらめてをります。いづれまた山居にて御待ち申あげ、なにかときこえあげ度く念じられます。一筆御礼まで。

浅見以久子

千代田区神田一ノ橋岩波書店 浅見いく子様 速達
〔消印三月十一日〕 世田谷区成城1・31・5 野上弥生子 〔葉書〕

一五六

寸啓 まだ校正がまにあひますなら、また一つ直して頂き度い事を思ひつきました。

ライシャワーさんの黒船踊のところですか。「手を振り、足を振り……」を「足拍子を踏んで——」
としないと拙いと存じます。どうぞよろしく。

あんなつまらないもので、いつまでも御手数を煩はし、申わけないことです。その他なにかと御世話ばかりかけまして、すべて御わびとまた御礼を申あげます。

松尾 尊 允

京都市左京区修学院水上田町 7・13 松尾尊允様
三月十三日 東京都世田谷区成城 1・31・5 野上弥生子 [葉書]

一五七

拝復

小手川豊次郎についての記事、御多用の中を御心がけ頂き有りがたく拝受致しました。

「詩と信実」のほうは一向にはかが参らず、いつ書物になりませうか、見当もつかない有様でございます。

とりあえず御受けと御礼まで。

宮 脇 修

新宿区矢来町 71 新潮社 宮脇修様
三月十七日(消印十九日) 世田谷区成城 1・31・5 野上弥生子 [葉書]

一五八

拝復 御たより有りがたく頂きました。御多事からの脱出の機を見つけるのは心身の両方にわたって重要と存じます。私は風邪ひいたり、下手なことをしてしまいましたがちよつとした小文を「図書」の為に書きました。夏目先生に関係あり、江藤さんの仕事にもちよつとふれたので、「波」の方でもよかつたのですが「図書」の乞ひにまかせた次第です。「森」のつづきは、そんなわけで相変らず遅々として小島さんに叱られさうでございます。おついでにおわびをどうぞ。やつと春日ら

しくなりました。

大内兵衛

鎌倉市稲村ヶ崎3・11・14 大内兵衛様
四月三日(消印四日) 東京都世田谷区成城1・31・5 野上弥生子 [葉書]

一五九

いつもエビタヒの頂きものと相なり、たゞ／＼御厚礼の外これなく、且つ御代筆にはひたすら恐縮でございます。おそばは選挙事務所からおそく御帰宅のをりにでも、一杯あついのをめし上つてと存じた次第でございます。民子夫人が御ぶじだつたら、多分毎日電話がかゝつて来る事であろうと考へたり致してをります。この辺でも美濃部色はあせませんが、しかし相手が相手で、最後まで兜の緒はゆるめるのはなよりの禁物と存じながら、ゴマメの歯ざしりで御役に立ちませず、申わけなく存じます。御奥さまくれ／＼御大切のほどを念じ上げます。

岩上淑子

杉並区荻窪2・12・19 岩上淑子様
四月三十日 世田谷区成城1・31・5 野上弥生子 [絵葉書]

一五〇

先般頂いた御たよりに御返事を書いたか、そのまゝ失礼いたしました(か)ちよつと分らないで気になつてゐます。二月あたりからいろ／＼多事で、そのあひだで仕事だけはつゞけようとしたりで、どちらへも御無沙汰です。御許しを願ひます。翻訳の事でもあなたも気苦労なされた由ですが、もうあたらしい勇気をえられた事でせうか。それを念じます。私などからすれば、まだ／＼お若いあなた方は、これからなんでもおできの事故、弱い心をもたないで前進なされ度く存じます。私もどうにか

ぶじに致してゐる事だけでも仕合せと思ひます。

村山佳代子

千代田区一ノ橋^{ノリ}岩波書店 村山佳代子様
五月六日(消印七日) 世田谷区成城1・31・5 野上弥生子

一巻

白かんばのエハガキ拝受いたしました。

連休にはきつと追分へ脱走の事と考へてをりました。いくらか息ぬきできたとのこと、よかつたと悦んでゐます。六太寺の仕事も一と先づ完成は、これも悦びにたえません。小型版を出すやうな話も先般浅見さんからちよつと耳に致し、その実行を念じてゐた次第でした。彼女が社の事を案ずるやうな言葉もその時出ました。私はたゞ抽象的に、男たちが頼みにならないならあなたや堀江さんや村山さんでしよつて立つ決心をすべきでせうといつておきました。なんといつてもあなた方は若さにものをいはせられるのだから、やる気ならなんとでもなりませう。私など、その点羨望のかぎりで、いよ／＼エネルギーの薄弱化が感じられますが、しかしどうにか健康には異状なく、午前中にわづかに二、三時間しか働けなくとも、とにかく「仕事はつゞけてをります」。

東京といふところ、私のやうなものでも外側とのつながりがますます／＼多くなるのみで、一日も早く山の生活をと念願してゐるところです。いづれあちらで。

今日たつぷりひるねして、午後も元氣をとり戻したので一筆御返事まで。緑樹の雨美しくい。

五月六日

やへ

村山佳代子さま

吉川政己

渋谷区松濤二ノ十四ノ一 吉川政己様 侍史
六月四日 世田谷区成城1・31・5 野上弥生子

一巻

寸啓

先般は御事多き中を御宅様にまで推参いたし特別に御診察頂きまして有りがたう存じました。あの後本郷の方へも参り、御指定の検査を受けました。風邪気らしい異和も昨今のところは消え去り、二日に一度ぐらゐ致してをりました咳もすっかりやんだやうでございますので、予定の通り、この日曜日には山居へ移ります事に致します。仕事の上でもまた健康の点でも私にはそれが必要な生活でございます。

おくれながら御礼かたぐ御報告まで。

末筆ながら御奥様へもよろしく願ひ上げます。

六月四日

野上弥生子

吉川正己様

封入のものは現在のあなた様にはかへつて失礼と存じますが、ほんのころばかりと御許し下さいませ。

昭和 46 年(1971)7 月

荻田 麗子

Mrs. Reiko Ogita 41-10, Bowne St. Apt. 3A Flushing, New York N. Y. 11355
U. S. A. [AIR MAIL]
(消印 七月十九日) Yaeiko Nogami Daigakumura 1-Jo Naganoharamachi
Agatsumagun Gunmaki (欧文タイプ) JAPAN (総業書)

一五三

先般はワシントン旅行についてのお便りうれしく頂きました。このところホワイ(ト)・ハウスの内
部は中々多事らしいが、エハガキではニュー・ヨークとは別天地の美しさで、平和さうで、これが
外側だけでない日の来るのが待たれます。円のもんだいなど浩さんは骨を折れる事も沢山と信ずる
が、それだけ働き甲斐もあらんかとおもはれます。どんな有様においても、それから学ぶ事を見つ
けるのが大切とおもひます。

R 子ちゃんもよい生活がうちたてられて行くのを念じます。三千子も結婚しました。甚だカンタン
ソボクなやり方で、それ〴〵簡性的にやつて行くのもおもしろいとおもひます。

遠くまでよくないニュースを伝えるのは好ましくないで、ウスキの小父さまが急死されたのをだま
つてもゐられません。心筋こうそくで、工場での一瞬の死とのこと。当人としてはどこで逝くより
満足な場所であつたらうとみんな申してゐます。

私はまだどうにかぶじにしてをります。山にゐるのがなによりかより健康にしてくれるらしく、机
仕事も進行です。

ホトトギス・カッコも健在。

ふたりともどうぞ元気で。

瀬沼茂樹

東京都中野区中野三ノ四四ノ十六 瀬沼茂樹様
(消印七月二十日) 群馬県北軽井沢大学村 野上弥生子 (葉書)

二五五

寸啓 お悔み有りがたく頂きました。金次郎は六つ年下ですが、心臓に少し不調がありましたので、こんな事にもやと案じてをりましたが、フンドンキン^{〔1〕}の集会のあとすべての人々に守られ、一瞬の死でございました由、本人も満足であつたらうと申されてをりますやうで、私もさう考へることに致してをります。五日まへこちらから電話してしばらく話しましたのが別れになりました。あなたとはまた不思議な御縁で、かうして御悔みを頂いて本人も有りがたい事と存じます。死はとたんにさわがしい事務になります事でもあり、暑さの中の旅をはたでも心配いたしますので帰りは思ひとどまりました。山居でひとりしづかに思ひ忍ぶのに似合はしい人間でございました。

「学研」のこともいろ／＼有りがたく存じます。宮下氏が参られましたので、奥さまへ山のもの少くことづけました。くれ／＼よろしく御伝へ下され度く、おそろひにてお大切な事をたゞ／＼お願い申し上げます。

布川きみ

東京都文京区小日向2・11・14 布川きみ子様
七月二十三日(消印二十五日) 群馬県北軽井沢大学村 野上弥生子

二五五

拝復 御ねんごろに御悔み頂き有りがたいことに存じます。遠方のうへ炎暑の中で、葬儀にも息子たちが参りましたのみで私は終に帰郷を見あはせましたが、みな様の御厚情にて万事ぶじにすま

した由、なほ一瞬の死で、場所も本社で二人の息子に抱えられ、社のものもみんな駆けよつた中で
の永眠で、本人も満足であつたらうと申してをりますとの事で、私もさう考へる事に致し度いとお
もつてをります。しかし山居の独り居ではかへつてしみぐとした悲しみにもうたれ、幼い時の事
などおもひだされたりでございます。商人よりは文化人のほうに近く、私にはかけがえのない弟で
ございました。年も六つ下で、この一、二年のいささかの無理がなかつたら、こんな急変も生じない
ですんだであらうにと残念に存じられます。

それにつけてもどうぞ／＼布川さん御仕事のうへにもオーヴァ・ワークにはなりませんやう
に、おそろひにていつまでも／＼御大切のほどが念じられます。山はこのところ不順な毎日で雨や
ら冷えやらがつづいてをりますが、私はどうやら無事に致してをりますので御放念下され度く、
時々息ぬきの脱出を御待ちいたしてをります。

末筆になりましたが、御心いれの宝来屋(兼)の珍珠、毎朝の御茶にうれしく賞味致してをります。御
礼がいづれも遅(な)はりましてお許し下さいますやうに。

まづは延引ながら御挨拶申上げます。

七月二十三日

布川御夫妻様

野上弥生子

芥川瑠璃子

東京都目黒区東ヶ丘1・1・10 芥川瑠璃子様
八月十日 群馬県北軽井沢大学村 野上弥生子

一書

拝復 先日は御礼の御ことばに却つて痛みいりました。芥川さんが御病氣にて入院とのニュースを耳にいたしました時から、ひそかに御案じ申あげながら、御見舞も申あげませんで御許しを願ひます。今日子さんによい経過をえてゐられる由を伺ひ、なによりと存じあげてをりますが、これからが一層大切と考へられます。今度こそ思ひきり静養をつゞけて再起にそなえて頂き度く念じあげます。

それにつけてもあなたがさぞかしと拝察致します。しかし辛いことも、苦しいことも、それだけより豊かな人生を味ふことゝ詩人のあなたはお思ひになれるわけかと存じられます。

東京はなか／＼の炎暑のやうで、それだけおしのぎになるのもひと苦労と存じます。どうぞ御元氣に御看護のほどを、また芥川さんへもくれ／＼よろしくお伝へ頂き度く存じます。

八月十日

野上弥生子

芥川瑠璃子さま

小手川絢子

大分県臼杵市祇園洲東組 小手川絢子様
八月十一日 群馬県北軽井沢大学村 野上弥生子

一書

一度ゆつくり手紙をと思ひながらまだこころの落ちつきをえず、人出入りも多かつたりで今日まで

筆をとりませんでした。また多事の中に送つて下すつた写真の御受けも通じなかつたのをおわびいたします。

力一郎来山のをりにも話した通り死の五日まへに電話で話したのが永い御別れとなりました。しかし中須賀の一瞬の最後の有様を知るにつけまことに羨やましいほどに思はれますし、この上はなにも／＼運命であつたとあきらめなければなりません。しかしなにより大切なのは今後のもので、力一郎とともにどうぞ新しい決心をもつてやつて行つて頂き度く、そのみが仏さまへのなにより供養と存じます。私は葬儀には参りませんでした、炎暑の中で無理をしてかへつてみんなに心配をかけるやうな事になつてもと思ひ、一つの事務となつたさわぎの中に帰るよりゆつくり落ちついてからと考へたのもありました。御存じの通り道郎は力一郎とは性格のちがふ人間ではあつても、話のわからない男ではないので、今後も話しあつて協力して行けるとはおもひますが、そんな問題でなにか役だつやうな場合はどんな役目も引き受けるつもりです。実ちゃんもいままでは金次郎の為に生きてゐたやうなもので、今後の生活をどうか安らかに同時に生き甲斐のあるものにしてあげ度く、そのみを願つてをります。まだ氣を張つて元氣にはしてゐても四十九日御盆とつゞく行事が過ぎてしまへば却つて淋しくがつくりと致す事とも思ひます。私はまだわざと手紙も書きませんがどうかくれ／＼よろしく申して下さい。娘たちもはじめてのショックで精神的にかなりの影響をうけた事とおもひます。三枝子がつたスナップですつかり大きくなつてゐるのにおどろきました。こちらは八月ブームでだいぶ集まり、先年金次郎実子つれだつての来山の事などあらたにおもひだされます。

せんきよは後藤さん立候補との事で、今度はどうか旨く行くやうにと念じられます。

白杵の暑さどうぞ御そろひにて御大切におしのぎ下さい。鶴崎の御両親さまへもついでどうぞ、よろしく。

八月十一日

小母より

絢子さま

丸岡 秀子

長野県追分駅上 丸岡秀子様
八月十二日 群馬県北軽井沢大学村 野上弥生子

一五八

拝復

御ねんごろの御手紙と小包有りがたく頂きました。いつも御心におかけ下され、うれしく忝けない事に存じます。一年ぢゆういろくと活動をつゞ〔け〕られての息ぬきにはそちらでの夏の生活が最良のものと信じられます。できるだけ長く御静養が願はれます。

また弟のこと御悔み下されこれも有りがたう存じます。まことに一瞬の死で、羨やまれるほどの安楽な最後であつたと聞き、それだけが救ひのおもひでございませう。五日まへに電話でいろくと話しましたので、葬儀の為には帰郷もいたしませんでした。死とともにものさわがしい騒ぎになるのはあなた様も御存じでございませう。それよりここにて独り静かに葬つてやり度く存じた次第でした。長男力一郎が報告の為に来山致し、小諸の小山さんが遠路わざわざ御会葬下さいました事、御返礼に参上致しましてあなた様との御血縁のほどを承はつた事など伝聞いたし、不思議な御縁にう

ちおどろきました。力一郎も次男も来山のをり小諸へよつて参つたとの噂はつねに耳に致してはをりました。それが御親類とは夢にも存じあげなかつたのでした。手まへの事ばかり申あげましたが村山さんも御寺さん相手の仕事が一と片づきでほととするとともに草臥がでゝゐる事とおもひます。どうぞゆつくり休養を致すやうに御伝へ頂き度く、また九月にはどうぞおそろひで御出掛け下さいませ。ちよつとデンワ下さればその方が好都合でございます。なにも／＼その節をたのしみにいたしまして。とりあえず御礼まで

八月十二日

野上弥生子

丸岡秀子様

茶通はこのごろでは重要文化財?と有りがたく押し頂きました。

岩上淑子

東京都杉並区荻窪2・12・19 岩上淑子様
八月十四日(消印十五日) 群馬県北軽井沢大学村

野上弥生子 [絵葉書]

二五九

いつも御心いれの御たより有りがたう存じます。またなよりのもの御恵贈下されこれも御厚礼申上げます。

七月に故郷の弟が急逝したりでこの夏は心おちつかず、それでもどうにか無事にだけは致してをります。

東京炎暑つゞきとの事、くれぐれおいとひ下さいませ。とりあえず御挨拶まで